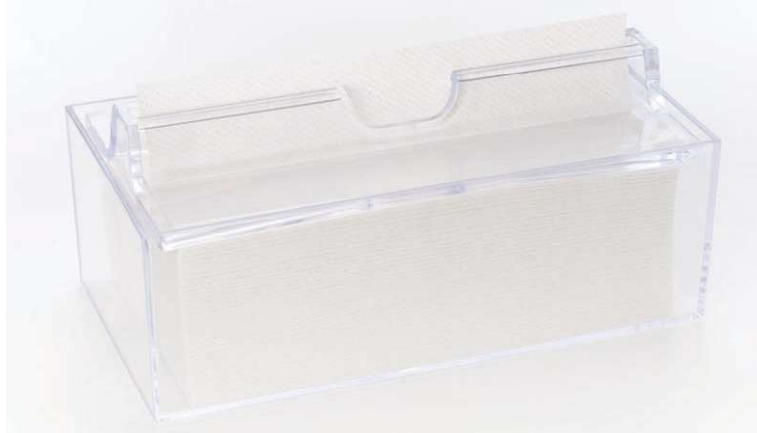


人によし、社会によし、未来によし。



化粧品、環境産業製品という言葉を知ったことがあるでしょうか。あまり耳慣れない言葉かもしれませんが、私たちが日常で使っているものや工場で使用されるものの材料として、様々な用途で活用されています。その製造を行っている会社が岩倉市にあります。

化粧品って何？

化粧品とは、天然油脂や石油化学原料を使って作る界面活性剤などのことです。界面活性剤は水に溶けないものを水に溶けるようにするもので、たくさんの種類があります。それぞれの特性を利用して、シャンプーやリンス、化粧品、柔軟仕上げ剤、車や工場の機械などの洗浄剤として使われています。その他、紙パルプをやわらかくしたり、手触りをよくする効果を活用して、花粉症の時期に大活躍するやわらかいティッシュの材料にもなっています。

さらに、名古屋工場に併設されている油化技術センターでは、付加価値の高い化成品の研究開発に取り組んでいます。

環境を守る商品を開発・生産

各企業では水銀や鉛などの有害な金属物質も必要に応じて使用しています。ここでは、そこで出る排水などの中の有害な物質を除去する薬剤も生産しています。廃水の中に入れて、有害物質を凝固・沈殿させて、回収し、きれいにした上澄みを流すものです。

また、ゴミ焼却場で発生する有害な灰を廃棄場所に埋めた後、雨が降った時に酸性雨の影響などで重金属が溶けて流れ出すのを防ぐための商品や、汚染土壌の中に入っている有害金属を固める商品もあります。

これらの商品は物質を無害化するというよりは固定化するという考え方で、ほとんどを名古屋工場で作っています。

私たちは「人によし、社会によし、未来によし。」を経営理念のもと、油脂の力を活かしたものづくりを通して、すべての人から信頼される企業であり続けることを目指します。

人によし 私たちは一人ひとりの生活者お取引先、社員、株主、その他事業に関わるすべての人を尊重し、また、人と人の繋がりを大切にします。

社会によし 私たちは常に誠実に事業を行うことを旨とし、ものづくりを通して社会に貢献し、信頼され、必要とされる存在であり続けます。

未来によし 私たちは不断の創意工夫を重ね、新しい価値のあるものを生みだし、健康やかで豊かな未来の創造に貢献します。

私たちはこれからも「油脂」の力を最大限に活用し、健全な社会の発展に寄与していきたいと思えます。



ゆし かぶしきがいしゃ
ミヨシ油脂株式会社

名古屋工場

〒482-8511 岩倉市野寄町西出 1-1

TEL: 0587-37-5111

<https://www.miyoshi-yushi.co.jp>



■会社概要

1921(大正10)年に創立した繊維工業せつけんや繊維油剤の製造会社です。その後、マーガリンやホイップクリームなどの食品分野に進出し、現在は食品部門と油化部門の2部門を柱に事業を進めています。

岩倉市には、合成洗剤・化粧品・食用油脂製造設備を建設し、1968(昭和43)年に操業をはじめ、1989(平成元)年には油化技術センターを併設しました。

現在、化粧品(化粧品原料、製紙/パルプ用薬剤、繊維用薬剤など)、環境産業商品(廃水用重金属処理剤など)の生産と、付加価値の高い化成品の研究開発に取り組んでいます。